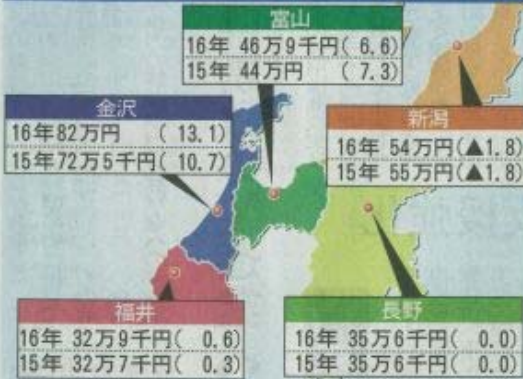


駅前首位 金沢揺るがず

北陸信越5県「新幹線駅前」の基準地価(1㎡当たり)



カッコ内は前年比変動率:%,▲はマイナス

上昇率、価格4年連続 富山はプラス縮小

北陸信越5県の県庁所在地の新幹線駅前の基準地価を比較すると、金沢駅前が上昇率、価格ともに4年連続でトップとなった。富山はプラスを維持したものの、前年より伸び幅が縮小し、新潟はマイナスが続く。福井は敦賀延伸を控えて上昇率が拡大したが、価格水準は5県で最も低かった。北陸新幹線の当面の終着駅として、開業前から顕著だった金沢の上昇の勢いが持続している。

北陸信越5県比較

駅前の最高価格は、1平方メートルあたり金沢82万円(金沢市本町2丁目)、新潟54万円(新潟市中央区東大通1丁目)、富山46万9千円(富山市桜町2丁目)、長野35万6千円(長野市南長野野石堂東沖)、福井32万9千円(福井市大手2丁目)だった。

金沢市本町2丁目は、2013年に新潟を抜いてトップに立った。上昇率は13.1%と開業1年目の10.7%を上回り、前年と同

じマイナス1.8%だった新潟との価格差は17万5千円から28万円に広がった。

観光依存に懸念

金沢の地価上昇に大きく影響しているのがホテル開発の動きだ。ただ、観光客の入り込みに依存した不動産市場は観光客が減ればマイナスの影響を受けやすくなる懸念もある。武田昭男不動産鑑定士は「ホテルが増加し、さらに観光客が増えるのか。それとも単にホテルの過当競争になるのかで地価の動きも変わる」と指摘する。

富山県は2位新潟との価格差を11万円から7万円1千円に縮めたが、上昇率は前年の7.3%を下回る6.6%だった。地価調査富山分科会代表幹事を務める朝倉秀朗不動産鑑定士は「開業直後に比べると効果は落ち着いてきた」と話した。

全用途3年連続上昇 富山市

富山県内の基準地価は、富山駅周辺や再開発事業が進む中心市街地の土地需要が堅調に推移した。富山市の全用途平均上昇率は前年の0.3%から0.4%に拡大し、3年連続のプラスとなった。県内の全用途平均は前年の0.3%で、前年の同0.4%から下げ幅を縮小した。

地価が上昇した地点は前年比2減の19地点、横ばいは6増の106地点となった。このうち

富山市は上昇17地点、横ばい50地点と持ち直しの動きが進む。最も伸び率が高かったのは6.6%上昇した富山市桜町2丁目の商業地で、価格は1平方メートルあたり46万9千円と25年連続トップだった。

住宅地の最高価格は12年連続で富山市舟橋南町となり、10万4千円だった。上昇率トップは5.4%上昇となった同市奥田寿町で、地価の上昇が駅北地区にも広がっている。



原薬80億円超に
三谷産業の個人投資家向け会社説明会は20日、金沢市の野村証券金沢支店で開かれた。豊庭達也社長(右)が説明している。

真IIは、ベトナム関連事業の売上高を2016年3月期の77億4千万円から、17年3月期には96億4千万円に引き上げる方針を示した。

ジェネリック医薬品(後発薬)原薬についても、取り扱い品数を現在の32品目から順次増やし、売上高は18年3月期には80億円を超過見通しという。豊庭社長は「外部環境に左右されない筋肉質な会社づくりを進めていきたい」と話した。

アイトマ 食品メーカーの販促

アイトママーケティング(富山)は、スマートフォンアプリ「コミュニケーション」で、商品M.C.、富山市は、食品メーカーが指定する商品を購入した消費者がレシーブの画像を送ると、購入金額の一部を現金で還元するキャンペーンを開始する。12月下旬からサービスを開始する。食品メーカー向け販促支援事業の第一弾となる。

食品メーカーは食品や飲料でキャンペーン期間を設

定し、アプリに掲載する。消費者はスマートフォン上で無料でアプリを取り込み、レシーブの画像を送る。その際、掲載されている商品の画像を見てもらうことで、広告宣伝効果が期待できる。アプリの利用でためたポイントは現金化され、振り込む。電子マネーの活用も視野に入れる。

アイトマM.C.は将来的にアプリから得た消費者の購買行動をデータ化して食品



初代クラウン再生報告 石川トヨタ

舗線直ニ37のり る久れにエン日

「北海道展」にミスはこたて 5月号から 21日から金沢市「エムサ」で始まる「大物産展」に先代ミスはこたてさん(24)の写真、北國新聞社を出身の土井さん(27)もメンバー

まはく市とイオン千代田市はかほく市と「住み分け」連携協定を写真。かほく市は増進や地域産業活